

2013年12月8日

つなぐを化学する
荒川化学工業株式会社



東証1部 4968

取締役社長

谷奥 勝三

0. ロジンとマツタロウ

1. 会社概要

2. 業績推移

3. 第3次中期経営計画

4. 株主還元・株式情報等

ロジン
と
マツタロウ

松やに（ロジン）の用途

スポーツ	野球（ロジンバッグ）
芸 術	ヴァイオリンの弓の塗布剤、浄瑠璃人形の鑄型、バレエ（トゥーシューズ）などの滑り止め
食 品	チューインガムのベース、ワインの香り付け
く す り	膏薬
遊 び	シャボン玉液

昔からいろんなものに使われているよ



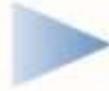
ロジンができるまで



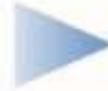
松やに採取



松やに集荷



水蒸気蒸留



ロジン包装



ロジン

ロジンは
再生可能な
天然資源

マツタロウ

profile

種類：松の妖精

性別：たぶん男の子

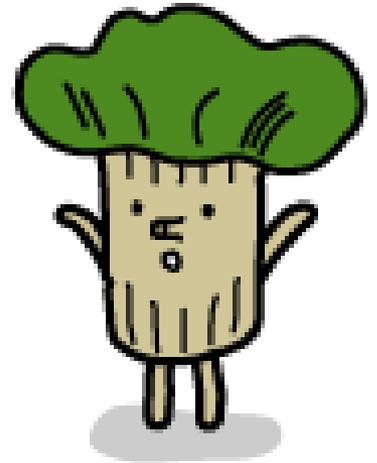
年齢：不明 でも子ども

住所：どこかの松林

趣味：たんけん、かくれんぼ

性格：わんぱく

家族：お父さん、お母さん、
きょうだいがいるみたい



会社概要

経営理念

個性を伸ばし
技術とサービスで
みんなの夢を実現する

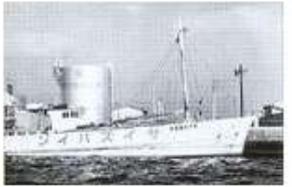


沿革

- 1876年（明治9年） 大阪で生薬商として創業
- 1914年（大正3年） 鳴野工場を開設し、ロジンの製造開始
- 1928年（昭和3年） ロジン系塗料用樹脂の製造開始
- 1937年（昭和12年） ロジン系印刷インキ用樹脂の製造開始
- 1954年（昭和29年） 製紙用薬品（サイズ剤）の製造開始
- 1967年（昭和42年） 台湾に天立化学（現 台湾荒川化学）を設立
- 1977年（昭和52年） 荒川林産化学工業(株)から荒川化学工業(株)に改称
- 1995年（平成7年） 中国に梧州荒川化学を設立
- 1999年（平成11年） 大証第二部に株式上場
- 2003年（平成15年） 東証・大証第一部に株式上場
- 日本ペルノックス（現 ペルノックス）が当社グループに加入
- 2004年（平成16年） 中国に南通荒川化学、広西荒川化学を設立
- 2008年（平成20年） 中国に広西梧州荒川化学を設立
- 2010年（平成22年） ダウ・ケミカル社のドイツの「アルコン」事業を取得
- 2011年（平成23年） 荒川化学合成（上海）有限公司を設立
- 2012年（平成24年） 柏彌蘭科技股份有限公司（ポミラン・テクノロジー社）を設立



創業当時の看板

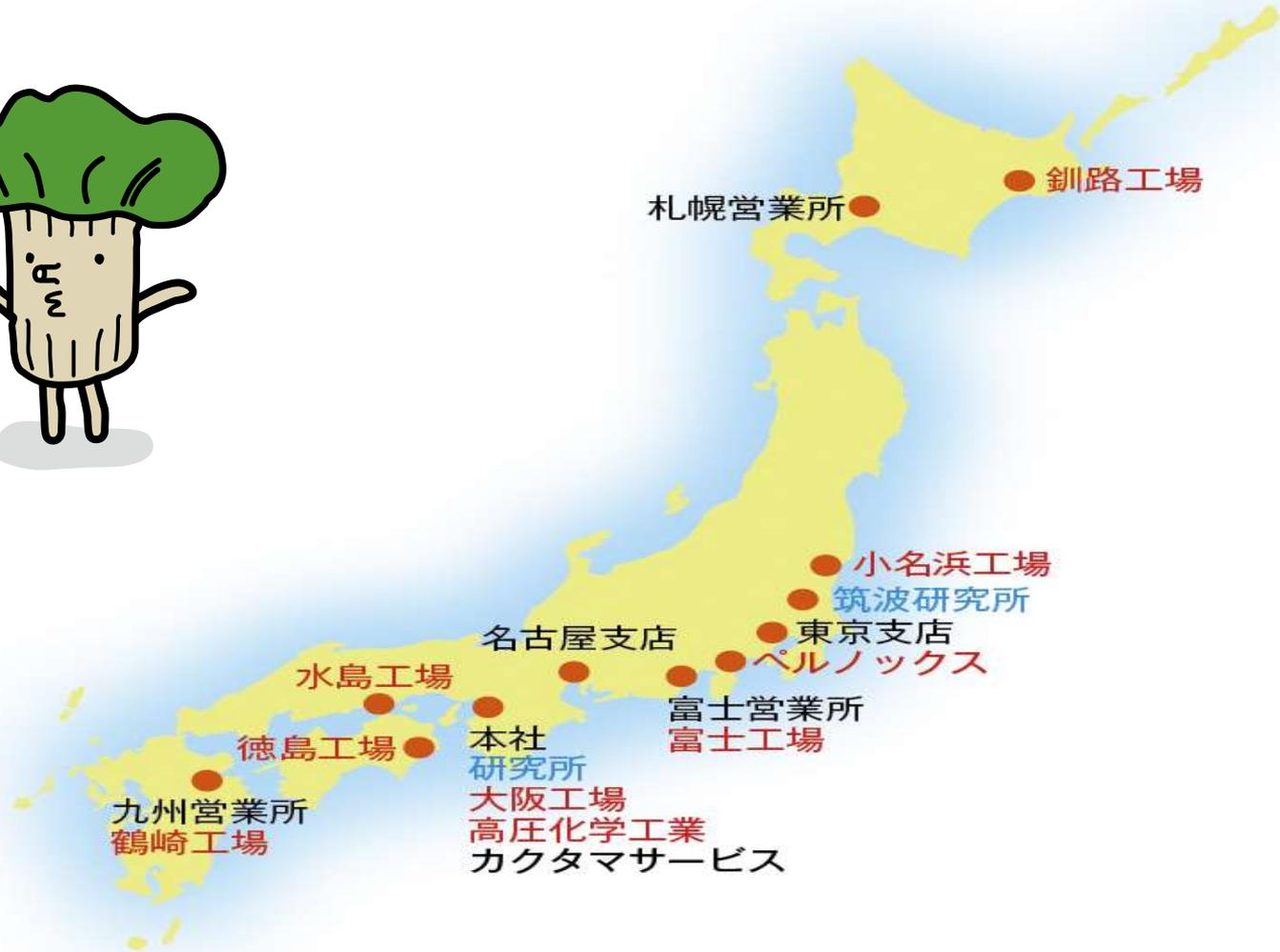
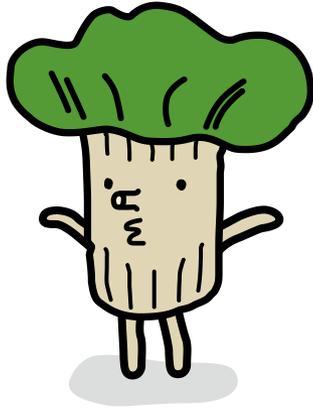


サイズ剤の海上輸送



広西梧州荒川化学

国内拠点



※赤色は製造拠点、青色は研究拠点

海外の製造および販売拠点

- 国内拠点
- 海外拠点(製造/販売)
- 海外拠点(販売)



荒川化学の歴史

- 地球に優しい **ロジン(松やに)関連製品**

のパイオニア

赤字は
一度もなし



- 創業137年の歴史
- アルコンを世界で初めて上市
- オンリーワン製品 **パインクリスタル**

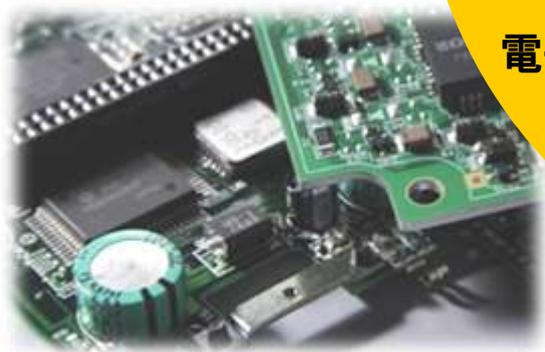
事業 (セグメント別)	事業内容
製紙薬品事業	サイズ剤 紙力増強剤 塗工紙用薬品 等
化成品事業	印刷インキ用樹脂 塗料用樹脂 粘着・接着剤用樹脂 合成ゴム重合用乳化剤 超淡色ロジン 機能性ファインケミカル製品 等
電子材料事業	光硬化型樹脂 電子材料用配合製品 精密部品洗浄剤および洗浄装置 シリコーン樹脂 等

売上高比率



製紙薬品事業
26.3%

その他 0.4%



電子材料事業
17.4%

2012年度
677億円

化成品事業
55.8%



さまざまな機能で暮らしを快適に



事業概要

印刷用紙
新聞紙



印刷用インキ
チューインガム



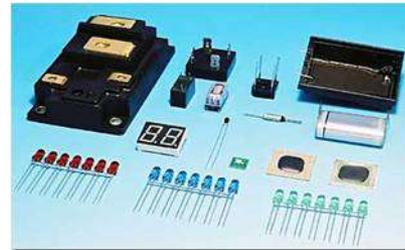
粘着・接着剤



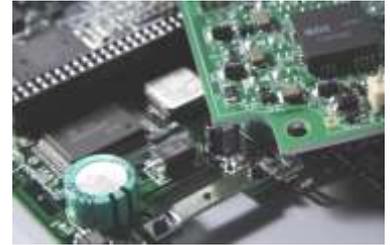
タイヤ



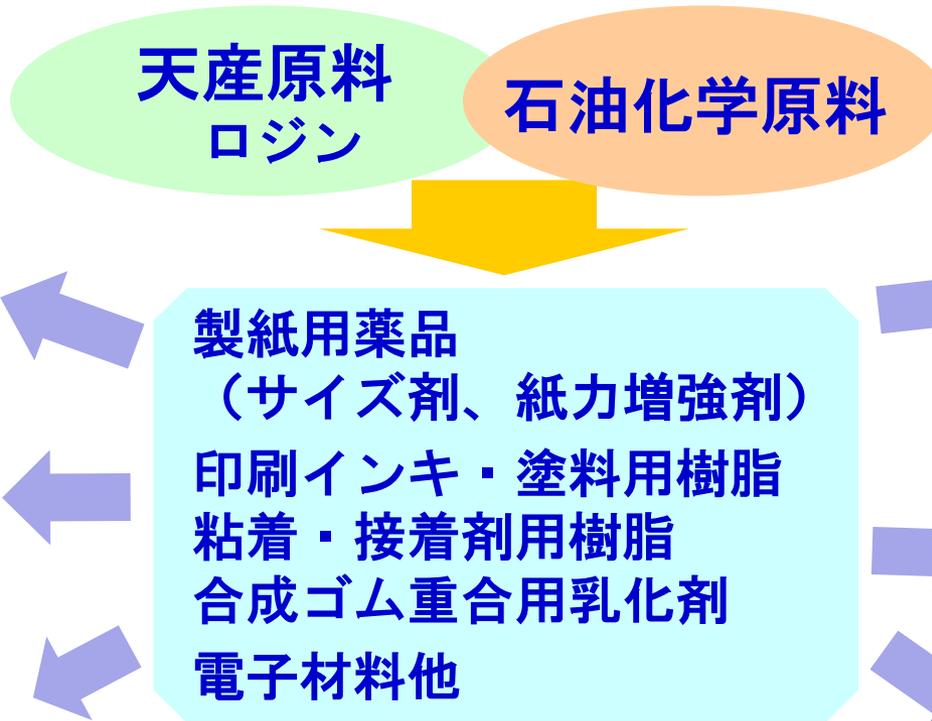
電子部品



精密部品洗浄剤



ディスプレイ用
コーティング剤

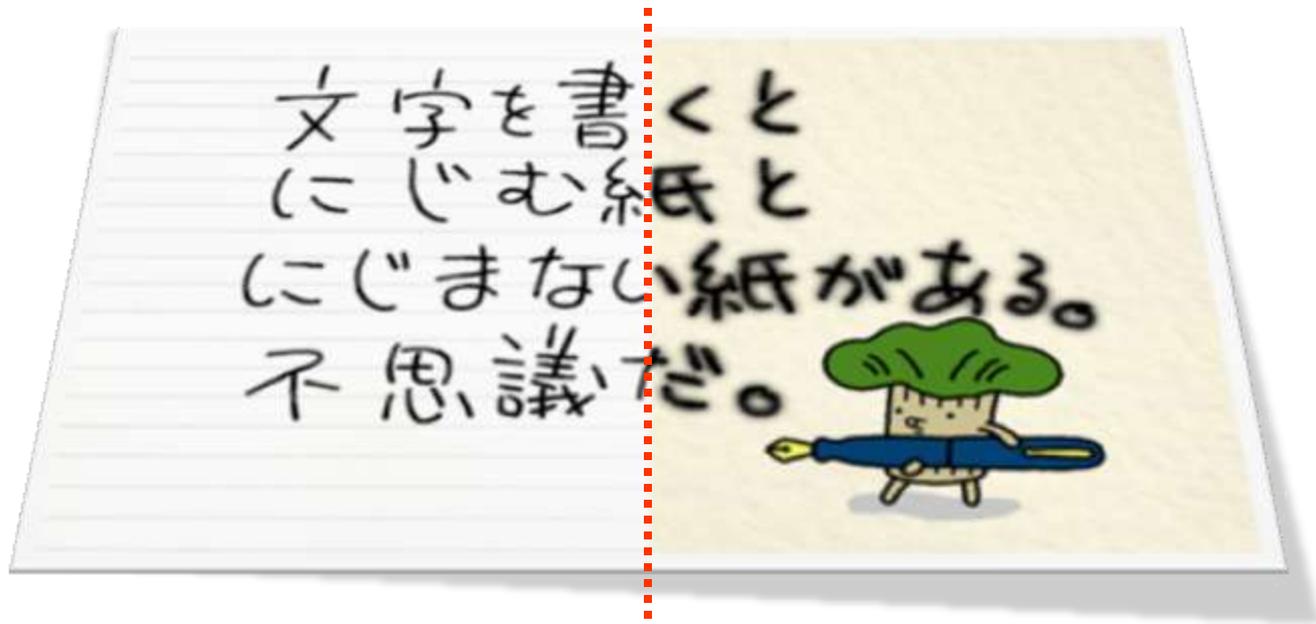


製紙薬品事業

No.1

製紙薬品国内シェア35%

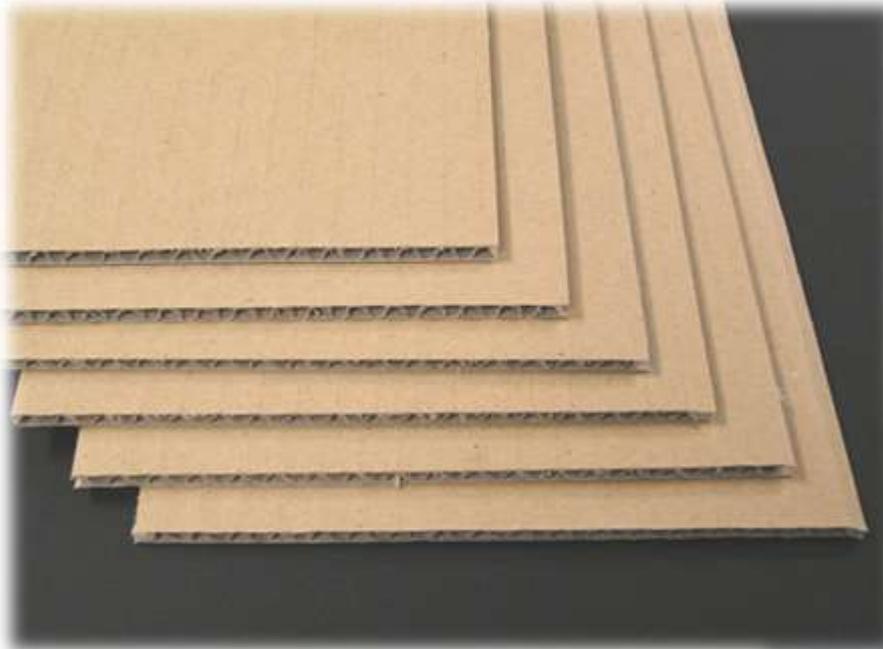
サイズ剤…インキのにじみ止め



サイズ剤あり

サイズ剤なし

紙力増強剤…紙を強くする薬品



段ボール

ティッシュペーパー
キッチンペーパー



化成品事業

No.1 印刷インキ用樹脂 **国内シェア40%**

手が汚れない



鮮やかな色彩



印刷スピード向上

印刷物

No.1

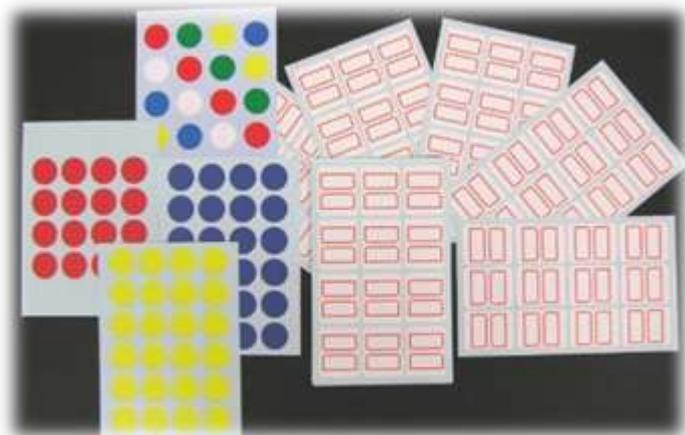
粘着・接着剤用樹脂 **シェアトップ**



接着剤



ラベル



水素化石油樹脂（アルコン）

世界シェア10%



紙おむつ用
接着剤



カップ容器用
蓋シール



食品ラップ
添加剤

ONLY
ONE

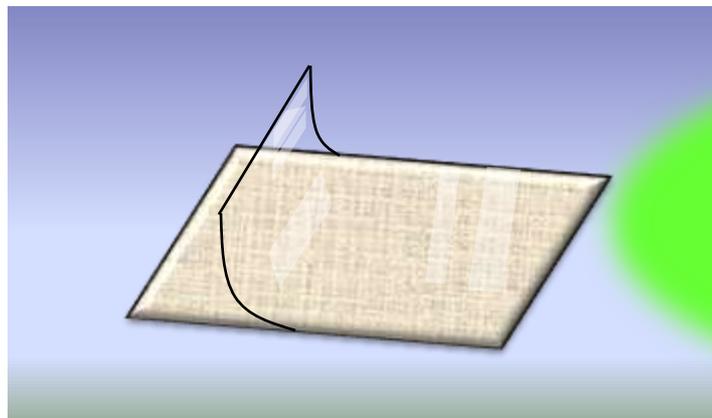
オンリーワン製品

超淡色ロジン
(パインクリスタル)

不純物が少ない



熱に対して安定



医療用ハップ剤、
鉛フリーはんだ用フラックス、
光学フィルム用粘着剤
など

電子材料事業

光硬化型樹脂（ビームセット）…コーティング剤

高機能性/速硬化性 = 省エネ



ディスプレイ

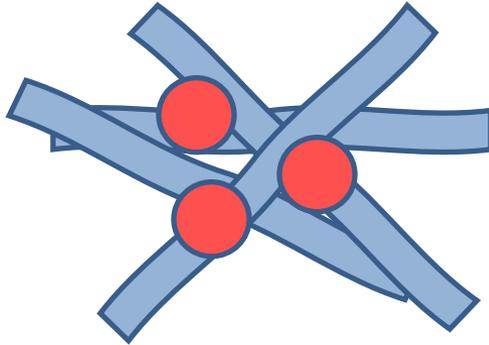
ハイブリッドポリイミドフィルム(ポミラン)
 …優れた寸法安定性、有機・無機材料の
 特長を併せ持つポリイミドフィルム
 =省工程、低コスト



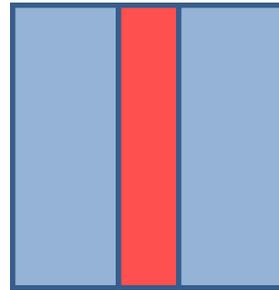
フレキシブル
 プリント基板、
 半導体パッケージ他

事業領域（得意分野）

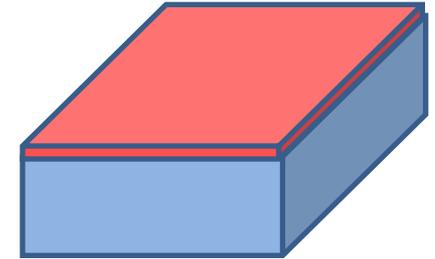
● ... 材料 ● ... 荒川化学の製品



紙



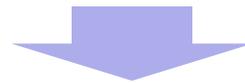
粘着・接着剤



インキ/塗料/コーティング剤

「つなぐ」技術

荒川化学の製品が材料に働きかけ、機能を付与する

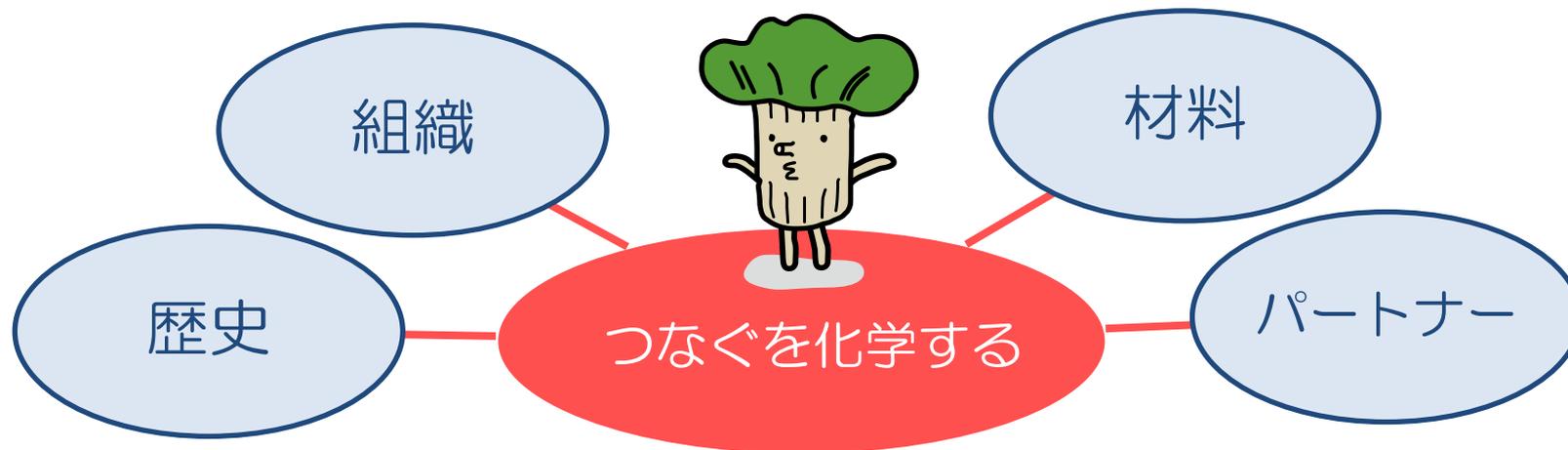


つなぐを化学する

ビジョン

つなぐを化学する

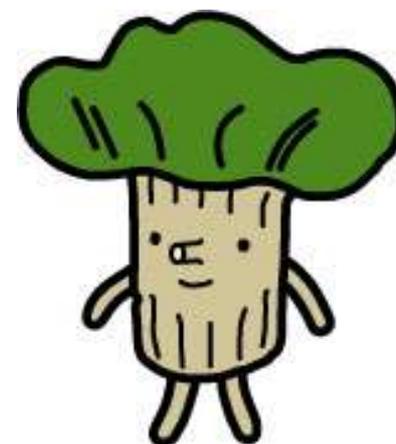
SPECIALITY CHEMICAL PARTNER



主要取引先

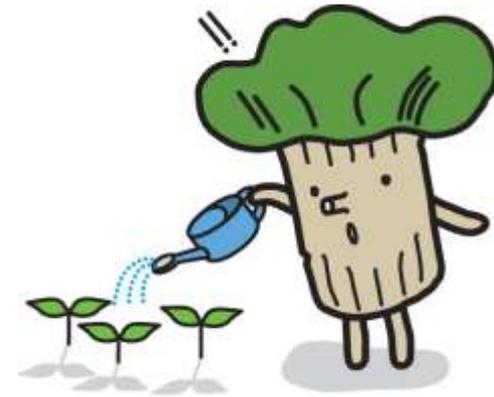
- 王子製紙
- 関西ペイント
- JSR
- 東洋インキ
- 日東電工

(五十音順)



社会貢献活動

地域社会との交流を大切に



●出張授業
(理科離れ対策)

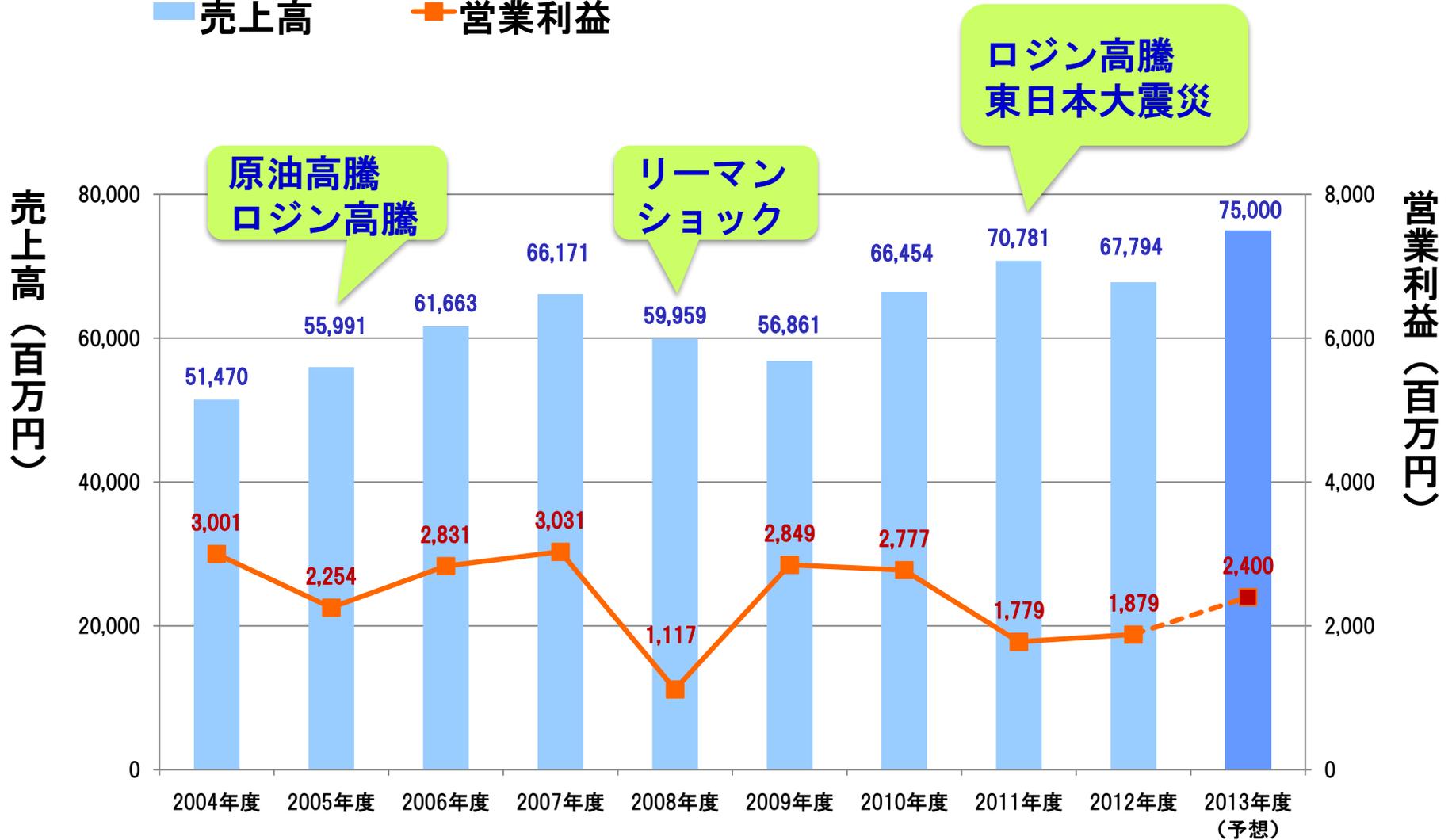
●緑のカーテン
(温暖化対策)



業績推移

業績推移（連結）

■売上高 ■営業利益



第3次中期経営計画 (2013年～2015年度)

環境の変化

- ・ 電子材料分野におけるマーケット構造の激変
- ・ 日本市場のシュリンク、ユーザーの海外移転
- ・ 海外ローカルメーカーとの競争激化



対応の遅れ

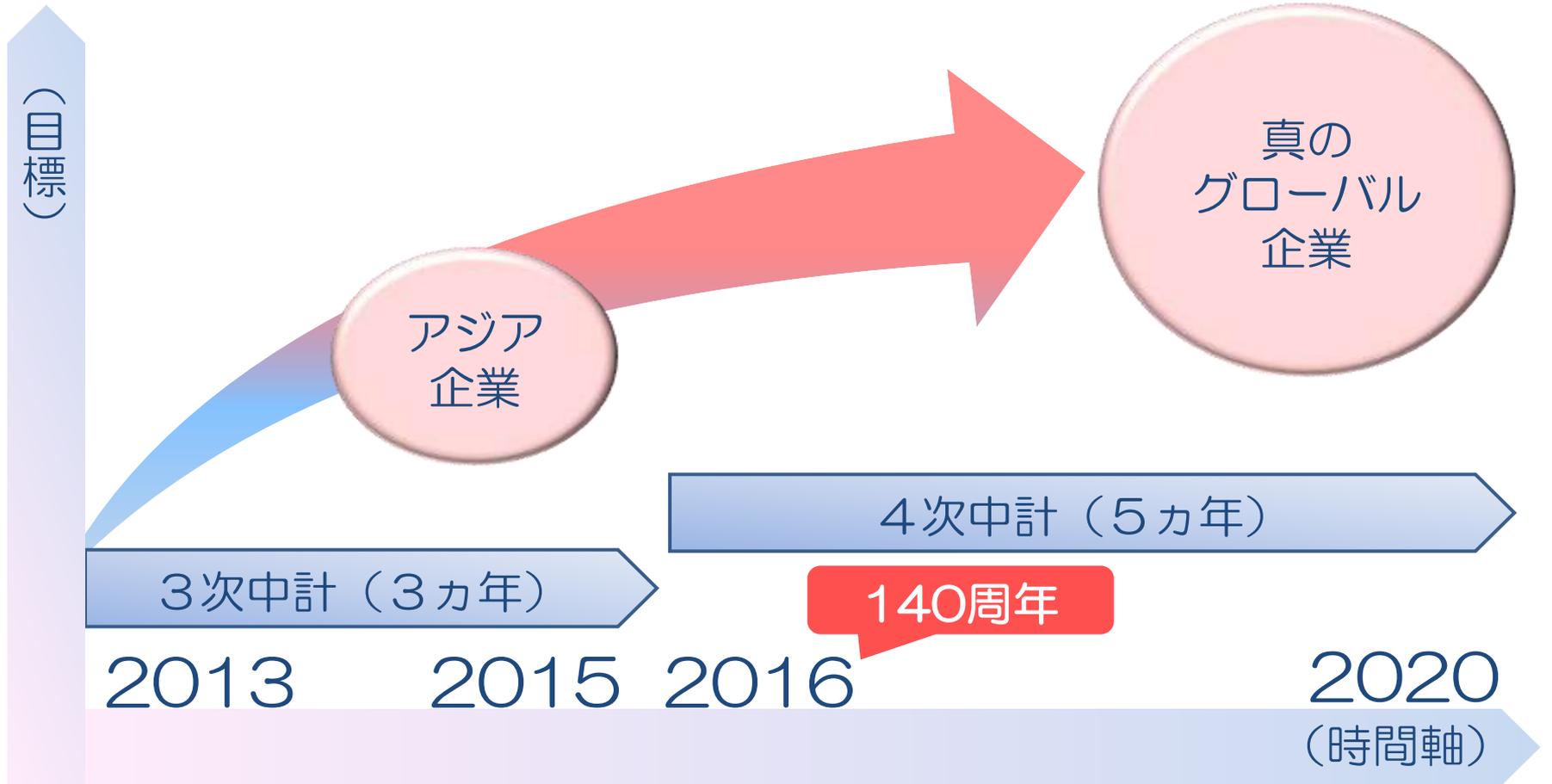
- ・ 需要構造の変化への対応
- ・ 現地ニーズに対応した製品投入
- ・ 販売ネットワーク構築

課題

第3次中期経営計画

グローバル140

140周年に向けてグループ経営理念を共有した社員が躍動するアジア企業へ



基本方針

グローバルに通用する経営基盤を構築する
～化学はグローバル市場では成長産業である～

1) グローバル化の加速

2) 日本事業の再構築

3) グローバルガバナンス体制の強化

4) 事業開発の促進

基本方針

グローバルに通用する経営基盤を構築する
～化学はグローバル市場では成長産業である～

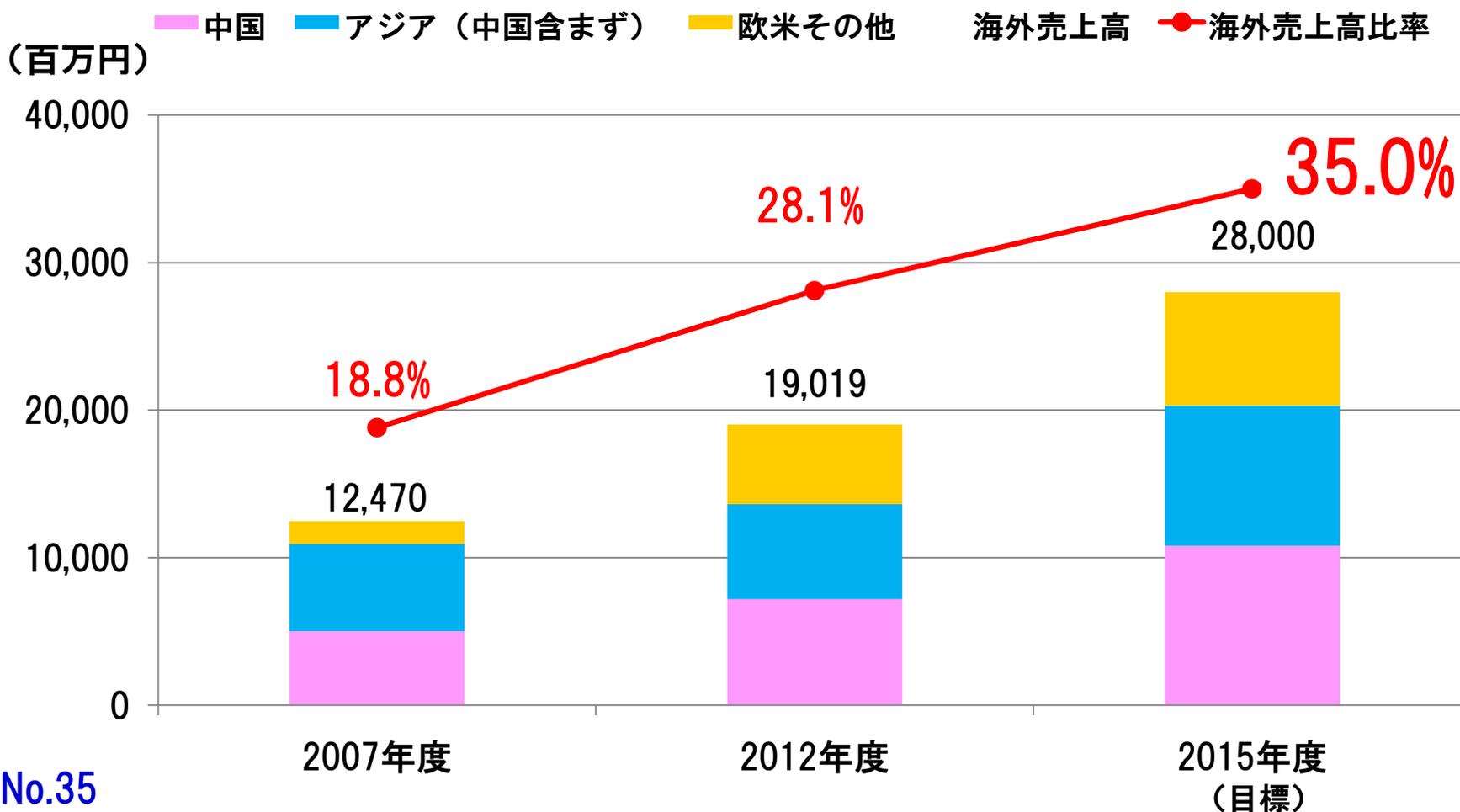
1) グローバル化の加速

2) 日本事業の再構築

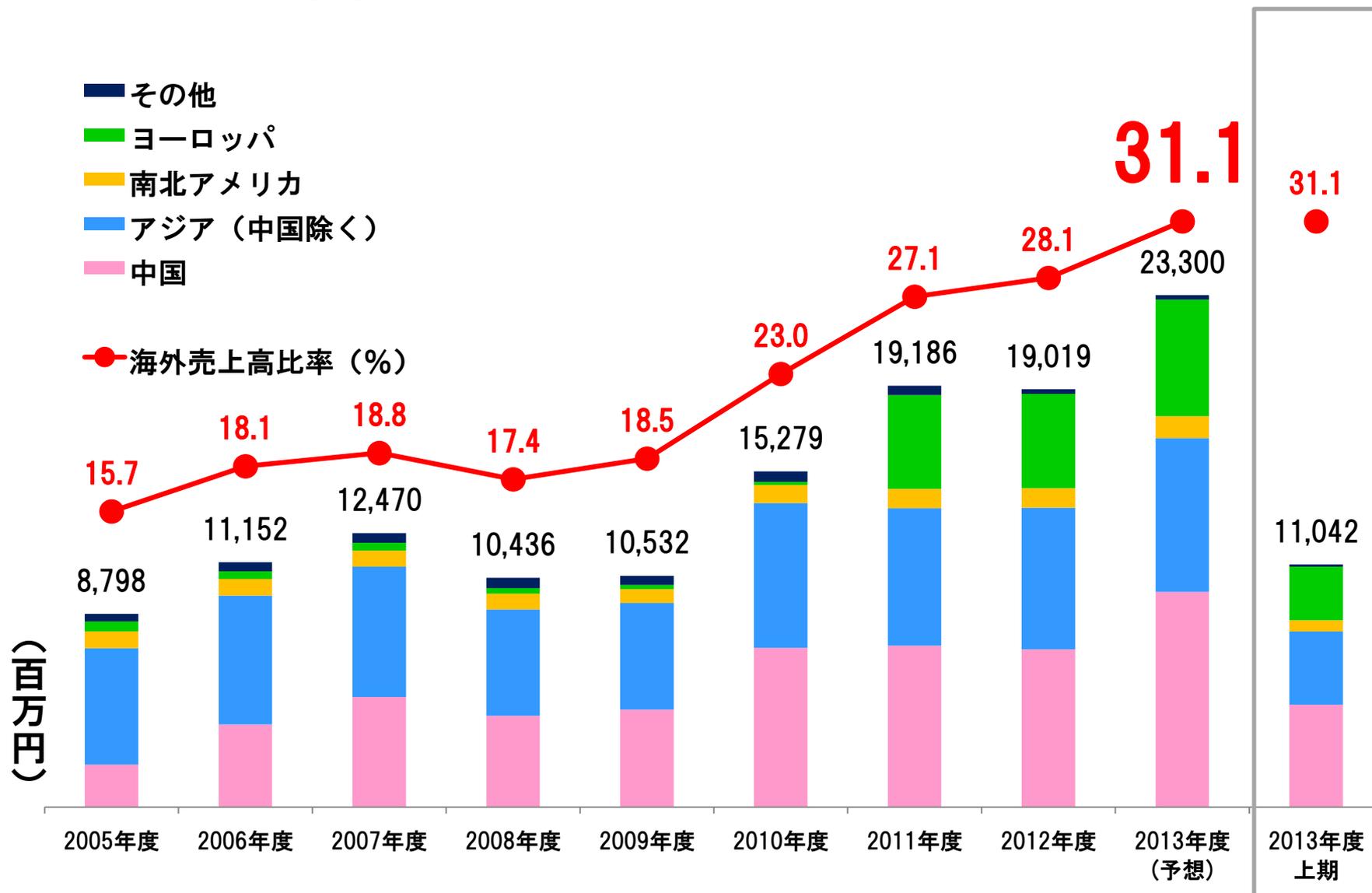
3) グローバルガバナンス体制の強化

4) 事業開発の促進

海外売上高280億円、 海外売上高比率35%を目指す



海外売上高・比率推移



アジア地域での製造および販売拠点の強化

- 海外拠点(製造/販売)
- 海外拠点(販売)

2013.3設立
上海荒川
広州分公司



2015.7完工予定
タイ荒川
生産設備 新設

2014.1設立予定
日華荒川
(台湾販社)
新設

基本方針

グローバルに通用する経営基盤を構築する
～化学はグローバル市場では成長産業である～

1) グローバル化の加速

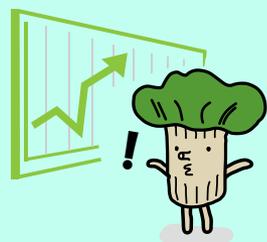
2) 日本事業の再構築

3) グローバルガバナンス体制の強化

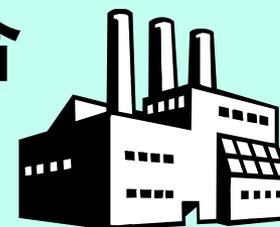
4) 事業開発の促進

グローバル市場の中での日本事業の位置付けを再認識し、収益を確保できる体制を構築する

採算悪化事業の
再構築



生産拠点の
統廃合



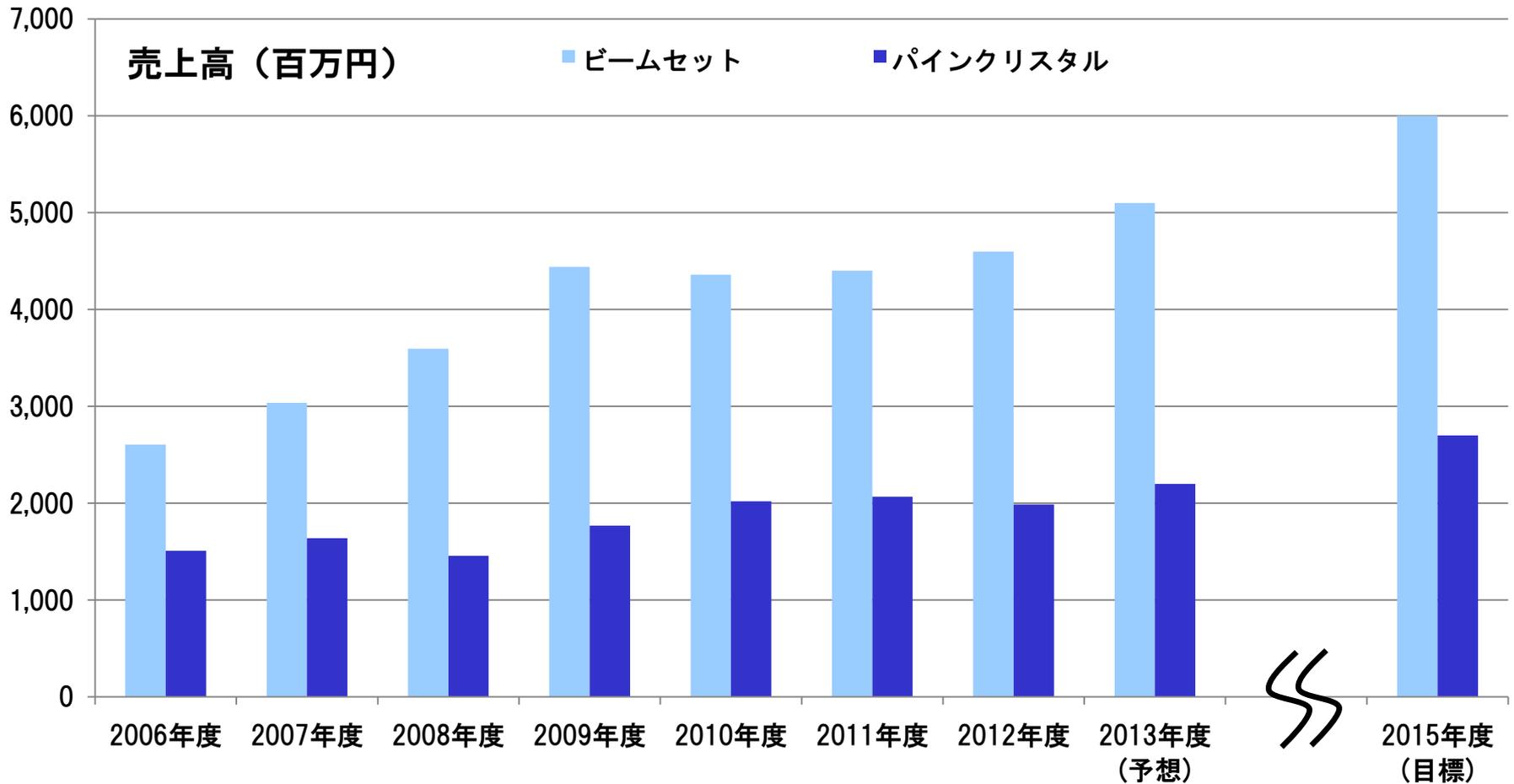
日本事業の再構築

高付加価値商品の拡販



高付加価値商品の拡販

ビームセット、パインクリスタルは用途展開により再拡大へ



基本方針

グローバルに通用する経営基盤を構築する
～化学はグローバル市場では成長産業である～

1) グローバル化の加速

2) 日本事業の再構築

3) グローバルガバナンス体制の強化

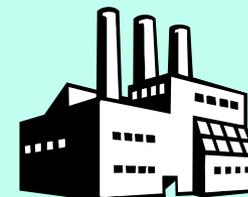
4) 事業開発の促進

経営資源のグローバルでの運用体制を構築する

グループ、組織体制の
見直し



会社設立・運営パッケージの
構築



グローバルガバナンス体制の
強化

グローバル人財の
育成



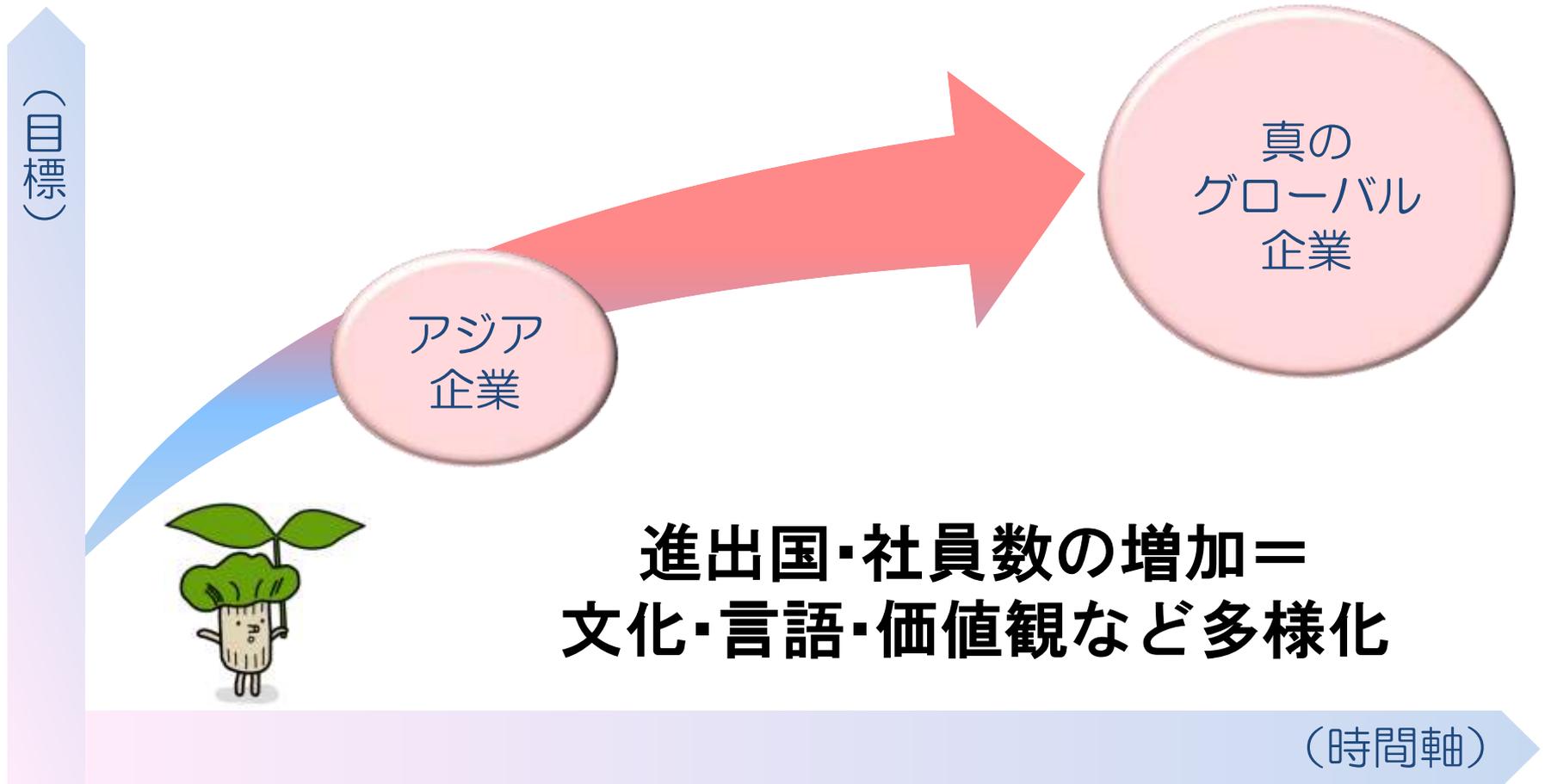
リスクマネジメントの
強化



チーム「KIZUNA」経営理念浸透プロジェクト

荒川化学グループの価値観・考え方の明確化

企業活動の方向性・目標の共有



基本方針

グローバルに通用する経営基盤を構築する
～化学はグローバル市場では成長産業である～

1) グローバル化の加速

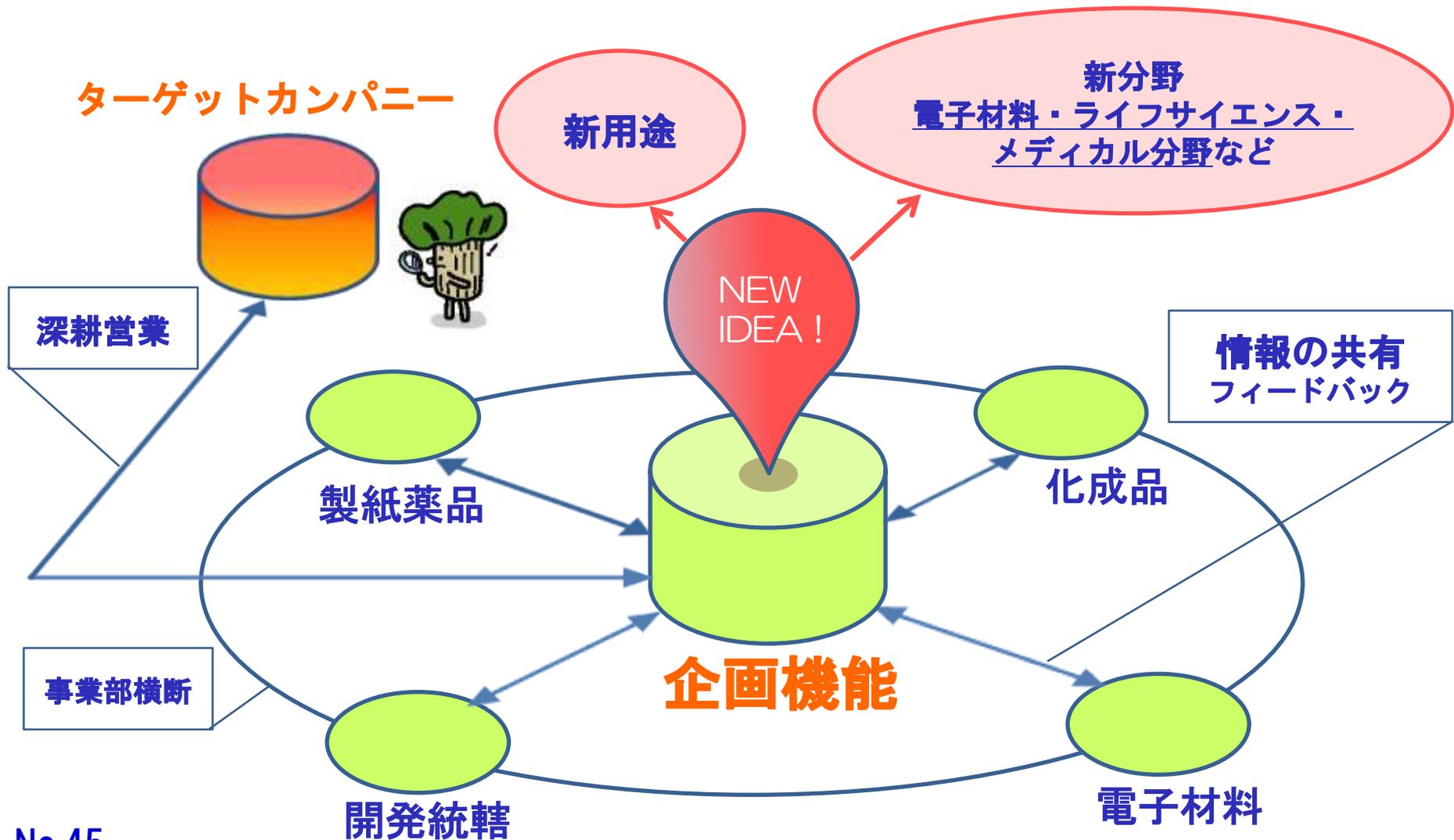
2) 日本事業の再構築

3) グローバルガバナンス体制の強化

4) 事業開発の促進

チーム「つなぐ」

横串機能強化による事業開発の促進



業績目標（連結）

2015年度目標	売上高	800億円
	経常利益	40億円
	ROE	≥5%

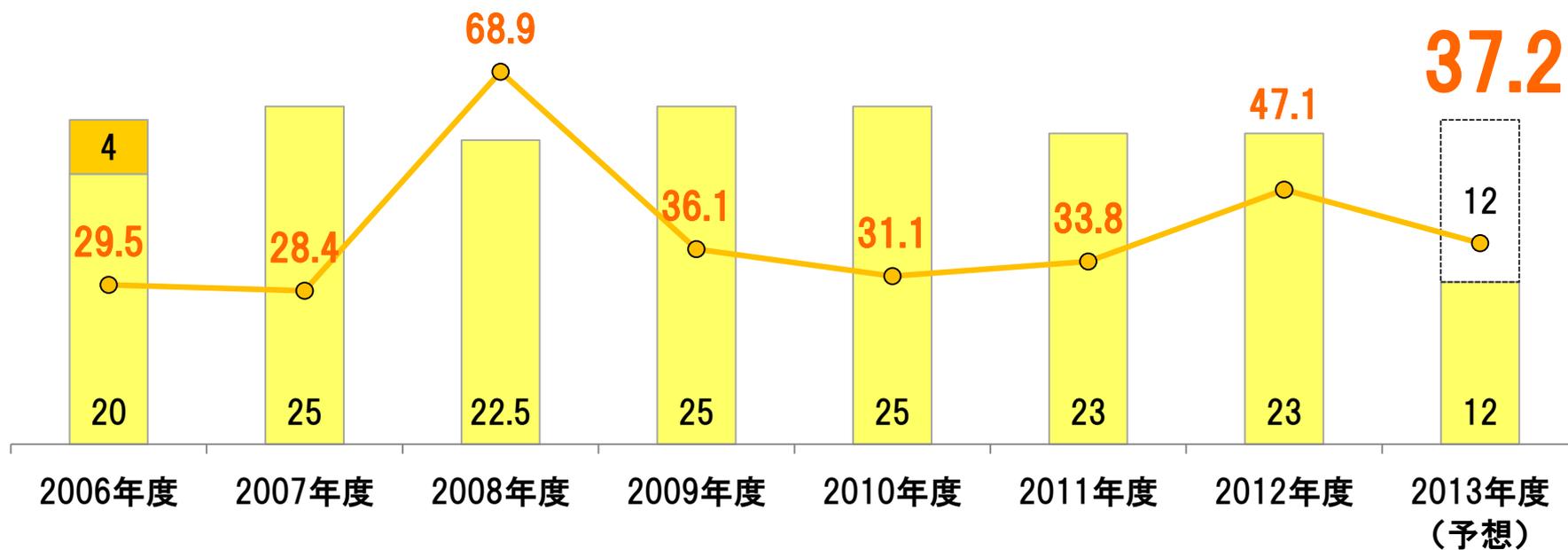
(単位：百万円)	2012年度	2015年度 (目標)	3カ年 伸率%
売上高	67,794	80,000	+18.0
営業利益	1,879	4,000	+112.9
経常利益	1,934	4,000	+106.8
当期純利益	982	2,400	+144.4
ROE	2.6%	≥5%	
EBITDA	5,018	6,500	+29.5

株主還元・株式情報等

配当性向

■ 記念配当
 ■ 1株当たり配当金
 ● 配当性向

配当金（円）、配当性向（%）



株価推移

ARAKAWA CHEMICAL INDUSTRIES,LTD.

Splits: ▼

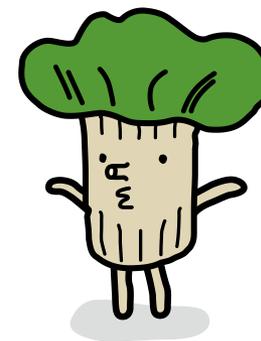
2013/12/3



株式情報

証券コード	4968
決算期	3月
上場取引所	東証1部
単元株	100株
株価	914円 (2013年12月4日 終値)
最低所要金額	91,400円
配当利回り	2.52%
P E R	18.73倍
P B R	0.45倍
発行済株数	20,150,400株
長期発行体格付	A一 見通し：安定的 (JCR)

商号	荒川化学工業株式会社
所在地	大阪府中央区平野町1丁目3番7号
代表者	取締役社長 谷奥 勝三
創業	明治9年（1876年）
会社設立	昭和6年（1931年）
資本金	31億2,830万円
従業員数	1,334人（2013年3月末時点・連結）



見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

参考資料

業績予想（連結）

(上段：百万円) (下段：増減%)	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度 (上期)	2013年度 (予想)
売上高	56,861 △5.2%	66,454 16.9%	70,781 6.5%	67,794 △4.2%	35,507	75,000 10.6%
営業利益	2,849 155.1%	2,777 △2.5%	1,779 △36.0%	1,879 5.6%	1,134	2,400 27.2%
経常利益	3,224 149.6%	2,976 △7.7%	1,858 △37.6%	1,934 4.1%	1,424	2,500 29.2%
当期純利益	1,395 112.3%	1,619 16.1%	1,368 △15.5%	982 △28.2%	867	1,300 32.3%
R O E	4.0%	4.5%	3.7%	2.6%	—	3.3%
E B I T D A	5,035 52.6%	5,187 3.0%	4,947 △4.6%	5,018 1.4%	2,558	5,300 5.6%

決算概要（連結）

(単位：百万円)	2012年度 上期	2013年度 上期	増減額 増減%
売上高	33,311	35,507	2,196 6.6
営業利益	771	1,134	362 47.0
経常利益	690	1,424	734 106.3
当期純利益	119	867	747 623.3
E B I T D A	2,305	2,558	252 10.9

※第2四半期（上期）は、4～9月の累計期間を表す
 ※EBITDA：償却前営業利益

アジア地域での生産、販売体制の強化

名称	概要	時期
荒川化学合成（上海） 広州分公司	化学原料、化学製品、電子材料および機械設備などの販売	2013年3月設立
日華荒川化学 （台湾販社） 設立	電子材料、化学製品、化学原料および機械設備などの販売	2014年1月設立予定
荒川ケミカル （タイランド） 生産設備新設	投資金額:375百万円 生産能力:約2,600トン/年 生産品目:印刷インキ用樹脂、 塗料用樹脂、粘着・接着剤用樹脂	2015年7月完工予定

中国ロジン輸入価格統計

通関統計より

